



報道関係者各位

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

< 自家用車のタイヤの空気圧点検に関する意識調査 >

## 自家用車での増税対策派、安全と節約につながる タイヤの空気圧点検の意識高い！

しかし、適切な頻度で実施できている人は 4 割以下

一般社団法人日本自動車タイヤ協会（所在地：東京都港区）は、4 月 8 日のタイヤの日を前に、20 代～50 代の自家用車を所有するドライバー男女 400 名を対象に「自家用車のタイヤの空気圧点検に関する意識調査」を実施いたしました。

今年の調査では、タイヤの空気圧を中心に自家用車の安全に関する実態・意識に関する調査はもちろん、本年 4 月からの消費増税にあわせて、運転への意識の変化などを探るべく、ドライバーの自家用車での増税対策への意識調査も実施いたしました。

### ■ 増税対策派は空気圧点検の意識が高い

本調査の結果から、74.3% のドライバーは 4 月からの消費増税にあわせて、自家用車での節約を考えていないことがわかりました（グラフ①）。増税後に車に使う金額も 58.8% が「変わらない」と答えており、車の増税対策を検討している人（増税対策派）は少ないようです（グラフ②）。

一方で、増税対策派は、日頃から燃費を意識した運転を行っている割合が高いことがわかりました。同時にタイヤ点検意識も高く、特に空気圧点検への意識が 73.8% と最も高い結果となりました（グラフ⑥）。「空気圧の点検で節約できるのであれば定期的に行いたい」という声も聞かれ、自家用車での増税対策派は、節約意識も点検意識も高いドライバーが多いようです。

### ■ 適切な頻度で空気圧点検を行っている人は少数

自家用車のメンテナンスについて聞いてみると、メンテナンスを普段から行っている人は 42.5% になりました（グラフ⑦）。具体的に行っているメンテナンスは、「タイヤの空気圧点検」が 64.0% でトップとなり、「エンジンオイルの点検」（58.7%）、「タイヤの溝チェック」（50.7%）が続きます（グラフ⑨）。また、タイヤの空気圧が不足すると弊害が起こることを知っている人は 80.3% にも上り、空気圧への意識が高いことが伺えます（グラフ⑩）。しか

し、自身の車のタイヤの適切な指定空気圧を知っている人は41.3%と半数以上が知らないという現状が浮き彫りになりました（グラフ⑪）。また、実際は月に1度以上の適切な頻度でタイヤの空気圧点検を行っている人は24.1%に留まりました（グラフ⑫）。意識の高い増税対策派でも、月に1回以上の点検を行っているのは37.0%となり、「月に一度の頻度で点検が必要とは知らなかった」という声もあるように、空気圧点検の必要性は認識していても、必ずしも適切な点検を実施できているわけではないことがわかりました（グラフ⑬）。

タイヤの空気圧が低下した状態では、自動車燃費の悪化や偏摩耗、バーストなどのタイヤ損傷につながります。弊会では、適切なタイヤの空気圧管理等の重要性をお伝えするため、まもなく迎える「4月8日タイヤの日」をはじめ、月に1度は空気圧点検を意識していただくために、年間を通したタイヤ点検の実施や、タイヤ使用管理リーフレット配布等の安全啓発活動を引き続き展開していく予定です。

### ■ 調査概要

調査名称：自家用車のタイヤの空気圧点検に関する意識調査

調査方法：インターネットによるモニター調査

調査期間：2014年1月23日～2014年1月27日

調査対象：全国の自動車を所有する20代～50代の男女

サンプル数：400（20代男性：50／女性：50 30代男性：50／女性：50  
40代男性：50／女性：50 50代男性：50／女性：50 計400）

※SA=選択肢から1つを選択する回答方式 MA=選択肢から複数の選択を可能とする選択方式

数値FA=数値を自由に入力する回答方式

※%表記の小数点第二位を四捨五入しているため、値の合計が必ずしも100%にならない場合もあります

### ■ 一般社団法人日本自動車タイヤ協会とは

自動車タイヤを生産する会員企業（株式会社ブリヂストン、住友ゴム工業株式会社、横浜ゴム株式会社、東洋ゴム工業株式会社、日本ミシュランタイヤ株式会社）で組織しており、自動車タイヤ（自動車用タイヤ、建設車両用タイヤ、産業車両用タイヤ、農業機械用タイヤ等）の生産、流通、消費及び貿易に関する調査研究、安全及び環境保全に関する施策の立案及びその推進等を行っています。日本の自動車タイヤ工業の健全な発展を図り、国産業及び経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的としています。

### ■ タイヤの日とは

4月は、春の交通安全運動の実施月で、「8」は輪（タイヤ）のイメージであることから、4月8日をタイヤの日としています。広く一般ドライバーにタイヤへの関心を喚起し、タイヤの正しい使用方法を啓発することにより、交通安全に寄与することを目的としています。

～報道関係者からのお問い合わせ先～

共同PR株式会社 担当：日沖・今水

TEL：03-3571-5236 FAX：03-3574-9364

MAIL：yumi.hioki@kyodo-pr.co.jp

～4月8日タイヤの日に関するお問い合わせ先～

一般社団法人日本自動車タイヤ協会 担当：大高・木下

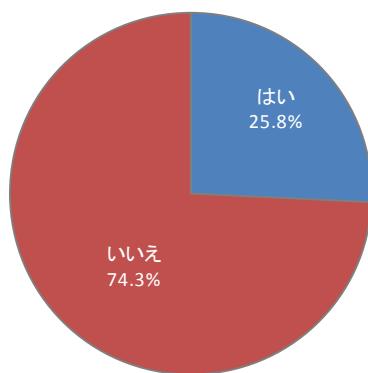
TEL：03-3435-9092 FAX：03-3435-9097

MAIL：otaka@jatma.or.jp kinoshita@jatma.or.jp

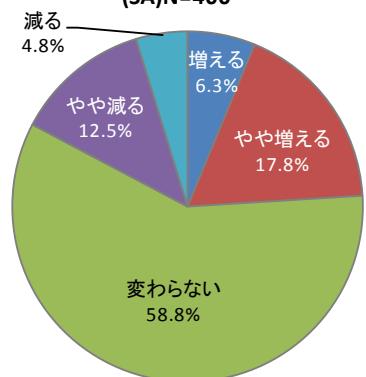
## 【調査結果詳細】

### ドライバーの 7 割以上が自家用車での増税対策を考えておらず

①自家用車に関することで、  
増税を受けて何か節約を行う予定ですか？  
(SA)N=400



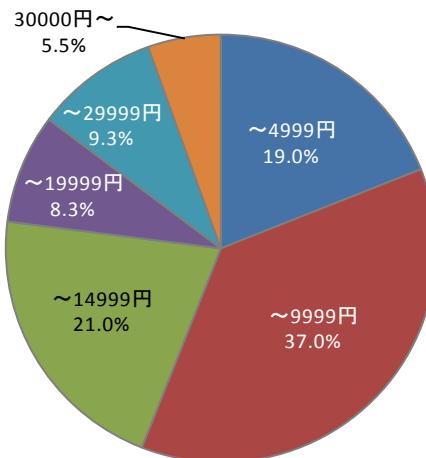
②自家用車に関することで、  
増税後に使う金額は変わると思いますか？  
(SA)N=400



4月からの増税にあわせて「自家用車に関することで、増税を受けて何か節約を行う予定ですか」という問い合わせに対し、「いいえ」と答えた人は 74.3% に上りました。また、「自家用車に関することで、増税後に使う金額は変わると思いますか」という質問でも「変わらない」と答えた人が 58.8% で、多くの人が自家用車での増税対策を行う予定がないことがわかりました。

### ◆ ご参考データ：燃料費

月平均の自家用車にかかる燃料費はどのくらいですか？  
(数値FA)N=400

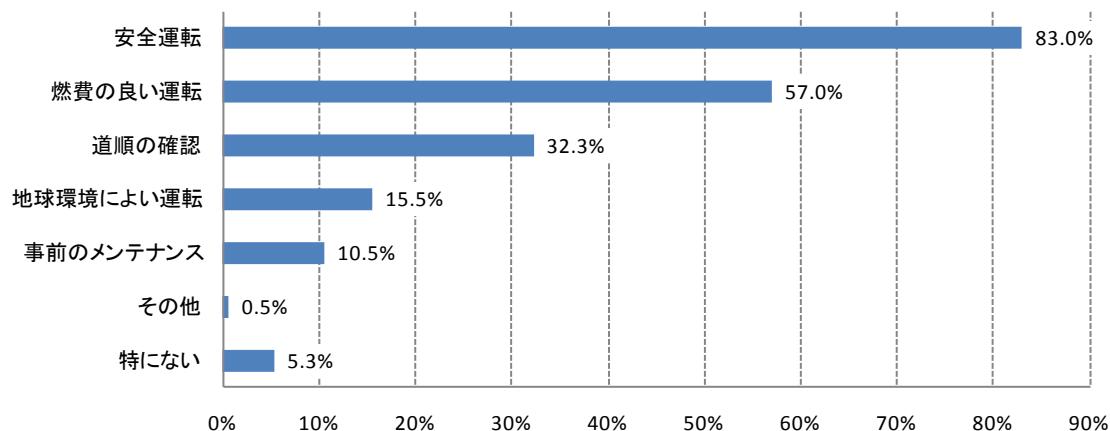


自家用車の燃料にかかっている費用は月平均で 10,094 円になることがわかりました。

## 自家用車での増税対策派は、日頃から安全運転だけでなく、燃費のよい運転も心がけている

### ③(全体)普段運転する際にどのようなことに気をつけていますか？

(MA)N=400

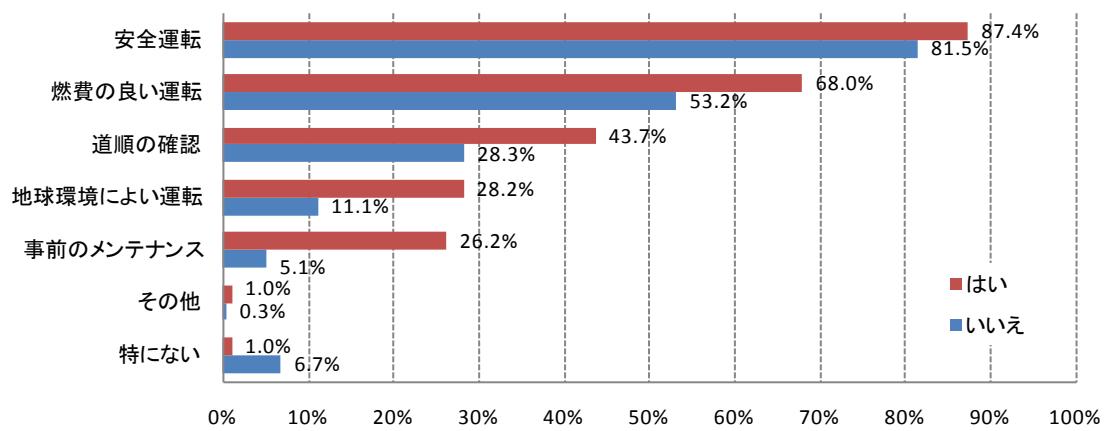


「普段運転する際にどのようなことに気をつけていますか」という問い合わせでは、「安全運転」(83.0%)、「燃費のよい運転」(57.0%)、「道順の確認」(32.3%) が上位に入りました。

### ④自家用車に関することで、増税を受けて節約を行う予定ですか？/

#### 普段運転する際に、どのようなことに気をつけていますか？

(MA)N=400

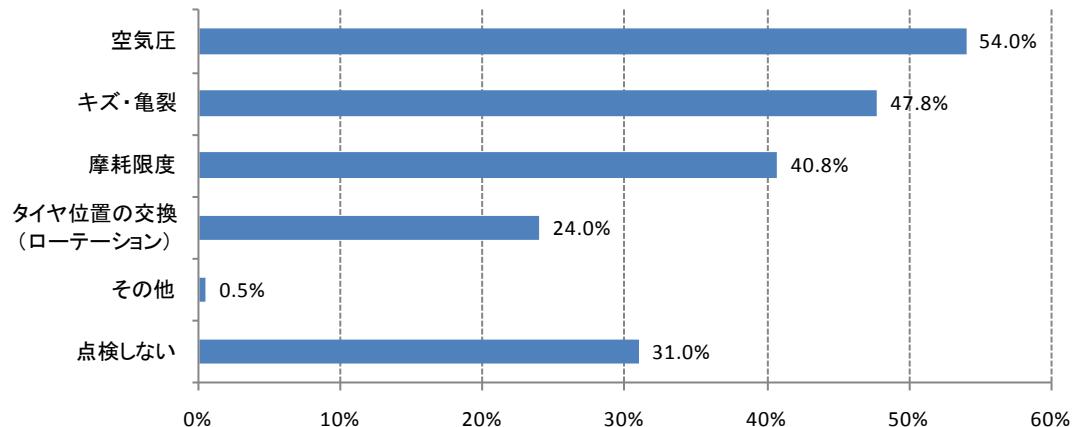


この結果を自家用車での増税対策を行う予定と合わせて見てみると、「増税対策を行う」と答えた人の方が、いずれも高い数値がでており、運転全般への高い意識が伺えます。

自家用車での増税対策派は、タイヤの点検意識高く。  
具体的な点検は「タイヤの空気圧点�査」がトップ。

⑤(全体)日常のタイヤ点検を行う際に重視していることはありますか？

(MA)N=400

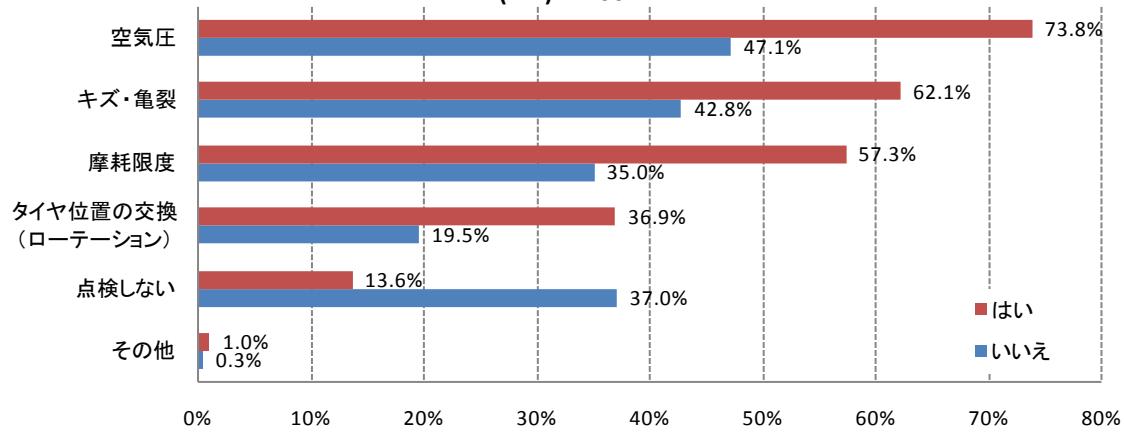


タイヤの日常点検について、「日常点検を行う際に重視していること」を見てみると、「タイヤの空気圧点検」が54.0%でトップになりました。次いで、「キズ・亀裂」(47.8%)、「摩耗限度」(40.8%)が上がりました。

⑥自家用車に関することで、増税を受けて節約を行う予定ですか？/

日常のタイヤ点検を行う際に重視していることはありますか？

(MA)N=400

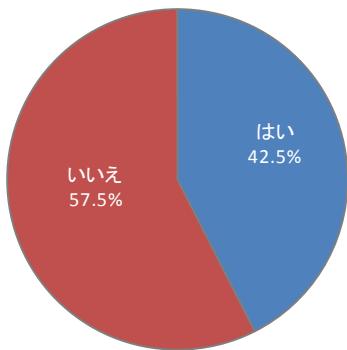


この結果を自家用車での増税対策を行う予定と合わせて見てみると、「増税対策を行う」と答えた人の数値が各項目で高くなっていることがわかります。特に「タイヤの空気圧点検」は73.8%人が上げており、高い意識が伺えます。

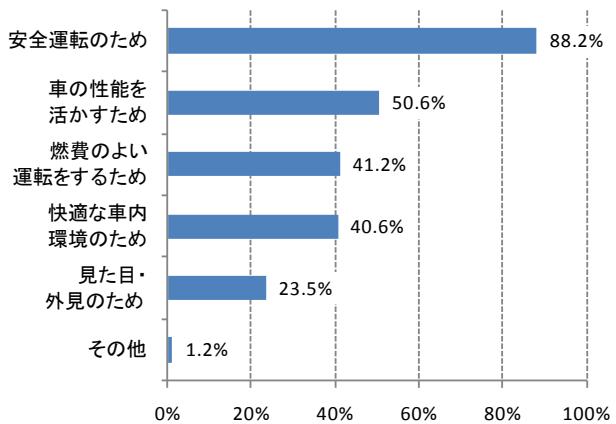
自家用車のメンテナンス、1位は「タイヤの空気圧点�査」。

「タイヤの空気圧点検」への高い意識浮き彫りになるも、月に1度以上の適切な頻度での点検や指定空気圧の認知は低い数値に。

⑦普段、自家用車のメンテナンスを行いますか？  
(SA)N=400

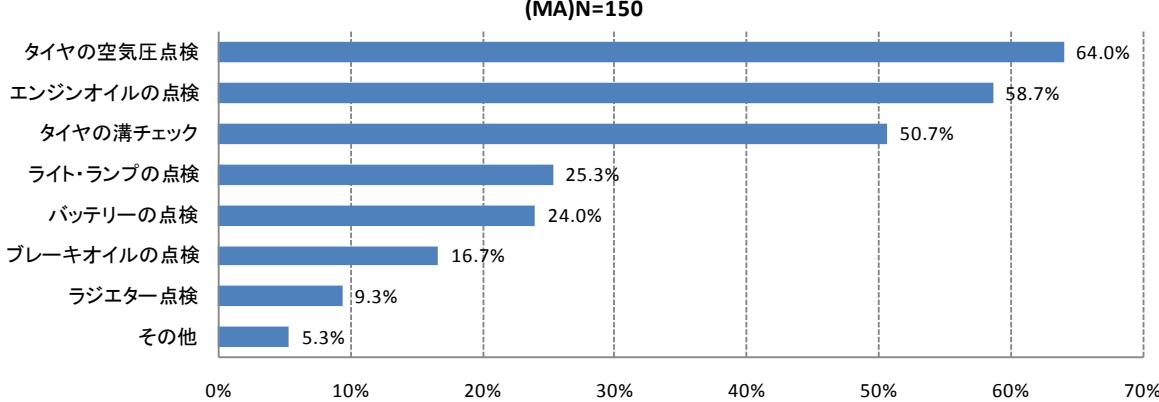


⑧メンテナンスを行う目的はなんですか？  
(MA)N=170



「あなたは普段、自家用車のメンテナンスを行いますか」という質問では、42.5%の人が「はい」と答えました。その「メンテナンスの目的」は、「安全運転のため」(88.2%)、「車の性能を活かすため」(50.6%)、「燃費のよい運転をするため」(41.2%) があげられました。

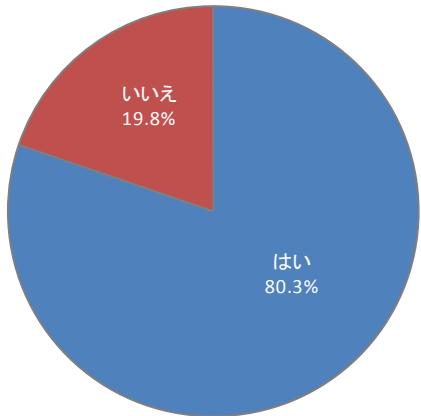
⑨安全運転のために行っている自家用車のメンテナンスは何ですか？  
(MA)N=150



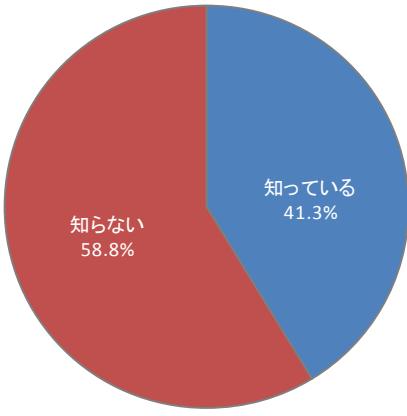
では、「実際にどのようなメンテナンスを行っているか」について聞いてみると、「タイヤの空気圧点検」(64.0%) がトップとなり、高い意識が伺えます。

次いで、「エンジンオイルの点検」(58.7%)、「タイヤの溝チェック」(50.7%) があがっています。

⑩タイヤの空気圧が不足すると、  
様々な弊害が出ることを知っていますか？  
(SA)N=400

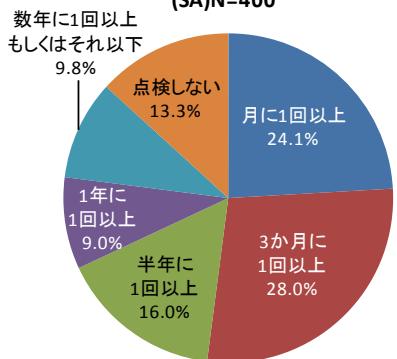


⑪ご自身の車のタイヤの  
適切な空気圧(指定空気圧)を知っていますか？  
(SA)N=400

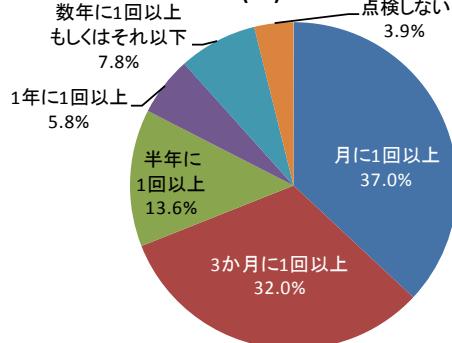


「タイヤの空気圧が不足すると、様々な弊害が出ることを知っていますか」という質問では、80.3%もの人が「知っている」と答えています。しかし、「ご自身の車のタイヤの適切な空気圧(指定空気圧)を知っていますか」という質問では、「知っている」と答えた人は41.3%に留まり、6割近い人が自家用車の指定空気圧を知らない現状が浮き彫りになりました。

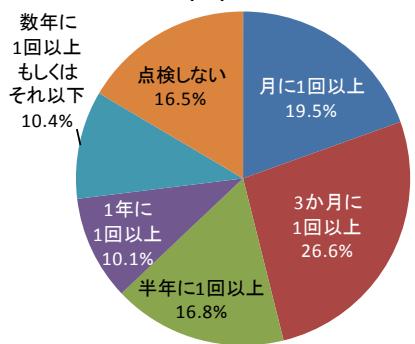
⑫(全体)タイヤの空気圧点検は  
どの頻度で行っていますか？  
(SA)N=400



⑬自家用車に関することで、  
増税を受けて節約を行う予定/  
タイヤの空気圧点検は  
どの頻度で行っていますか？  
(SA)N=400



⑭自家用車に関することで、  
増税を受けて節約を行わない予定/  
タイヤの空気圧点検は  
どの頻度で行っていますか？  
(SA)N=400



また、適切な頻度とされる「月に1度以上」タイヤの空気圧点�査を行っている人は24.1%に留まりました。安全や節約に対する意識の高い増税対策派でも、月に1回以上の点検を行っているのは37.0%となり、空気圧点検の必要性は認識していても、必ずしも適切な点検を実施できているわけではないことがわかりました。